

### 本書の構成

本書は、全体が十の章に分かれています。一つの章は四単元で構成されています。前半の単元では、読解の基本である「文学的文章」と「説明的文章」を中心に学び、中盤以降ではそれらに加えて、「詩・短歌・俳句」の韻文単元、「古典」、「文法」、「漢字・語句」をバランスよく組み合わせています。一章四単元というスムーズステップをこなすことで、国語の学力を無理なく高めることができます。いくつかの単元には、導入パートが設けられており、その単元に取り組みにあたっての、基本的な考え方を学習することができます。

### 導入パート

第1章 1 文学的文章 (1) (小説)

1 文学的文章 (1) (小説)

① 文学的文章の読み方

文学的文章は、作者の個性や感情が込められて書かれています。読むときは、作者の気持ちや考えを想像しながら読み進めましょう。

② 登場人物の読み方

登場人物の行動や言葉から、その性格や心情を読み取ります。登場人物の成長や変化にも注目しましょう。

③ 場面・情景の読み方

場面や情景の描写から、その雰囲気を想像しましょう。登場人物の行動や心情にも影響を与えています。

④ 主題の読み方

物語の中心テーマやメッセージを読み取ります。登場人物の行動や言葉から読み取ることが多いです。

⑤ 表現の読み方

登場人物の言葉や行動の表現から、その感情や心情を読み取ります。登場人物の成長や変化にも注目しましょう。

⑥ 読者の読み方

登場人物の行動や言葉から、その性格や心情を読み取ります。登場人物の成長や変化にも注目しましょう。

⑦ 登場人物の読み方

登場人物の行動や言葉から、その性格や心情を読み取ります。登場人物の成長や変化にも注目しましょう。

⑧ 場面・情景の読み方

場面や情景の描写から、その雰囲気を想像しましょう。登場人物の行動や心情にも影響を与えています。

⑨ 主題の読み方

物語の中心テーマやメッセージを読み取ります。登場人物の行動や言葉から読み取ることが多いです。

⑩ 表現の読み方

登場人物の言葉や行動の表現から、その感情や心情を読み取ります。登場人物の成長や変化にも注目しましょう。

⑪ 読者の読み方

登場人物の行動や言葉から、その性格や心情を読み取ります。登場人物の成長や変化にも注目しましょう。

第1章 3 説明的文章 (1)

3 説明的文章 (1)

① 説明的文章の読み方

説明的文章は、作者の考えや感情を明確に伝えるために書かれています。読むときは、作者の考えや感情を読み取ることが大切です。

② 登場人物の読み方

登場人物の行動や言葉から、その性格や心情を読み取ります。登場人物の成長や変化にも注目しましょう。

③ 場面・情景の読み方

場面や情景の描写から、その雰囲気を想像しましょう。登場人物の行動や心情にも影響を与えています。

④ 主題の読み方

物語の中心テーマやメッセージを読み取ります。登場人物の行動や言葉から読み取ることが多いです。

⑤ 表現の読み方

登場人物の言葉や行動の表現から、その感情や心情を読み取ります。登場人物の成長や変化にも注目しましょう。

⑥ 読者の読み方

登場人物の行動や言葉から、その性格や心情を読み取ります。登場人物の成長や変化にも注目しましょう。

⑦ 登場人物の読み方

登場人物の行動や言葉から、その性格や心情を読み取ります。登場人物の成長や変化にも注目しましょう。

⑧ 場面・情景の読み方

場面や情景の描写から、その雰囲気を想像しましょう。登場人物の行動や心情にも影響を与えています。

⑨ 主題の読み方

物語の中心テーマやメッセージを読み取ります。登場人物の行動や言葉から読み取ることが多いです。

⑩ 表現の読み方

登場人物の言葉や行動の表現から、その感情や心情を読み取ります。登場人物の成長や変化にも注目しましょう。

⑪ 読者の読み方

登場人物の行動や言葉から、その性格や心情を読み取ります。登場人物の成長や変化にも注目しましょう。

# 目次 国語 Vol.1 α

## 第1章

1 文学的文章 (1) (小説) …………… 4

2 文学的文章 (2) (小説) …………… 8

3 説明的文章 (1) …………… 12

4 説明的文章 (2) …………… 16

## 第2章

5 文学的文章 (3) (随筆) …………… 20

6 文学的文章 (4) (随筆) …………… 24

7 説明的文章 (3) …………… 28

8 説明的文章 (4) …………… 32

## 第3章

9 文学的文章 (5) (小説) …………… 36

10 説明的文章 (5) …………… 40

11 詩 (1) …………… 44

12 漢字・語句 (1) (漢字の成り立ち/部首/画数/筆順) …………… 48

## 第4章

13 文学的文章 (6) (随筆) …………… 52

14 説明的文章 (6) …………… 56

15 詩 (2) …………… 60

16 漢字・語句 (2) (音読みと訓読み/熟語の組み立て) …………… 64

## 第5章

17 文学的文章 (7) (随筆) …………… 68

18 説明的文章 (7) …………… 72

19 短歌・俳句 (1) …………… 76

20 文法 (1) (ことばの単位) …………… 80

## 第6章

21 文学的文章 (8) (随筆) …………… 84

22 説明的文章 (8) …………… 88

23 短歌・俳句 (2) …………… 94

24 文法 (2) (文節相互の関係) …………… 98

第7章

25 文学的文章 (9) (隨筆) .....

26 说明的文章 (9) .....

27 詩 (3) .....

28 漢字・語句 (3) (類義語 对義語) .....

第8章

29 文学的文章 (10) (小説) .....

30 说明的文章 (10) .....

31 詩 (4) .....

32 文法 (3) (文の成分) .....

第9章

33 文学的文章 (11) (小説) .....

34 说明的文章 (11) .....

35 古典 (1) .....

36 漢字・語句 (4) (ことわざ・慣用句・四字熟語) .....

第10章

37 文学的文章 (12) (小説) .....

38 说明的文章 (12) .....

39 古典 (2) .....

40 文法 (4) (品詞) .....

付録：漢字練習 1 ～ 40

# 第1章

## 1 文学的文章 (1) (小説)

### テーマ

#### 設定をつかむ

文学的文章のうち、架空の物語を描いたものを小説といいます。小説は、ある状況設定の中で、事件が起きたり、人物が行動したりして、物語が展開されていきます。ここでは、小説の読み取りでの最も基本的な「設定」の読み取りを学んでいきます。

小説とは…作者がつくりだした架空の人物や出来事を書いて、何らかの主題を伝えようとした文章。小説は主に、「私」「僕」などの視点から描かれたものと、客観的な視点から描かれたものがある。

### 1 小説の設定のつかみ方

#### ① 舞台設定をとらえる

小説を読むときは、必ず「いつ、どこで、だれが、何を話す話なのか」をおさえましょう。

- ・ いつ……………時代背景や季節、日時。
- ・ どこで……………場所。実際には存在しない場所が舞台の場合もある。
- ・ 誰が……………登場人物。複数の人物の関係性が描かれる場合が多い。
- ・ どうする……………展開。小説では、ある出来事によって登場人物の関係性や心情が変化する様子が描かれるものが多い。

#### ② 人物設定をとらえる

- ・ 主人公：物語の中心となる人物。「はるか」「木下」などの固有名詞で表される場合と、「私」「僕」などの一人称で表される場合とがある。
- ・ 主人公以外の登場人物：家族や友人、学校や職場の仲間、主人公が出会う人物など。主人公との関係を中心にとらえる。

### 例文

このまま足を止めてしまおう。彩子は何度もそう思った。しかし、そのたびに、なぜか足が勝手に次の一步を踏み出しているのだ。

日はすでに高くなっていた。強い日差しが、じりじりと肌に照りつける。体を動かすたびに、汗でぐっしりとぬれた服が全身にまとわりつく。

前を見ると、リュックをかついだ兄の背中が見える。山道をずりずりりと確実に進む、その足取りは力強い。彩子も遅れまいとするが、足がすでに棒のようだ。はあ、はあという、自分のあえぐような息遣いが、どこか遠くから聞こえてくるような気がする。

「がんばれ。あともう少しで頂上だ。」

兄の声がした。彩子はその声に勇気づけられるように、また一步、足を踏み出した。

### 例文の設問例

- ① いつの出来事ですか。 → 昼間
- ② 場所はどこですか。 → 山道
- ③ 登場人物は誰ですか。 → 彩子とその兄。
- ④ 主人公は誰ですか。 → 彩子
- ⑤ 何をしているところですか。 → 頂上を目指して山道を登っているところ。



〈大石真「ひろったりんご」より〉

- (1) 本文中の場面は、一日のうちのいつごろの出来事を描いたものですか。漢字一字で書いて答えなさい。

- (2) この場面にいる人物は誰ですか。すべて書いて答えなさい。

- (3) 本文は誰が何をしている場面を描いていますか。次の文の□に入る最も適切なことばを書いて答えなさい。

〈ぼく〉たちが□ときの方が書かれた新聞記事を、ママが読んでくれた場面。〉

解法のポイント

- (1) **設定** 小説の読解では、まず「いつ・どこで・誰が・何をした」という設定(どういう場面かということ)をつかむことが大切です。ここではそのうち「いつ」をとらえます。本文の最後の一文に「ぼくは、新聞をママからもらって、ランドセルにいとると、学校に向かって歩きだした」に注目しましょう。ここから、朝、学校に行く前の出来事であることがわかります。
- (解答) 朝

- (2) **設定** 本文の場面「いる」のは二人です。「おばあさん(わたし)」は新聞記事に登場するだけなので、ここに「いる」とは言えません。
- (解答) ママ・ぼく(タクちゃん)

- (3) **設定** 本文は、ママが「ぼく」に新聞記事を読んでもらえる場面を描いています。空欄には、その新聞記事の内容にあたるのが入ります。新聞の記事の内容が書かれているのは「先日、マーケットで買った、……子どもたちの親切に、一日じゅう、幸せな思いをかみしめました」の部分。この内容を短くまとめましょう。

(解答) おばあさんが落としたりんごを拾って届けた



次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



〈氷室冴子「いもつと物語」より〉

□ (1)

設定

線①「チチ、きたってか？」とありますが、これは誰のことですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア おじいちゃん  
ウ チヅル

イ チチ  
エ 川原の家の人

□ (2)

心情

線②「いい卵だぞ。手、だしてみな。チチの卵があつたぞ」から読み取れるおじいちゃんの気持ちとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 自分の家でとれた卵のすばらしさを自慢じまんしたい気持ち。

イ 卵がこわれないですんだので、ほっとしている気持ち。

ウ かわいがっている孫のチヅルを喜ばせたいと思う気持ち。

エ まだ小さなチヅルには、一番小さい卵で十分だと思ふ気持ち。

□ (3)

心情

線③「チヅルは、生きているヒヨコをもつように、そつと両手をすぼめて卵の重みをたのしんだ」とありますが、チヅルはなぜこのようなことをしたのですか。次から最も適切と考えられる理由を選び、記号で答えなさい。

ア 卵が今にもかえりそうに思えたので、このまま温めてみたいと思ったから。

イ 卵に命のぬくもりを感じ、その重みを手にしていることに感動したから。

ウ 町場の卵とちがって、川原の家の卵のあまりの小ささと軽さにおどろいたから。

エ 卵がすぐにでもこわれそうな感じがするので、注意しようと緊張きんちょうしたから。